

授業科目(ナンバリング)	海外観光資源 A (CB106) (実践的教育科目)			担当教員	竹田 文雄 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
海外の国・地域への関心を高め、以降の国際観光資源の学修の基礎を固めることに主眼を置く。 ・主に地理、観光、名物料理、アトラクションを把握しながら、その地域の観光資源を理解する。 ・総合旅行業務取扱管理者試験「海外観光資源」出題に対応する為の基本知識を学修する。 ・対象地域は、ヨーロッパと南北アメリカとする。							②⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	対象国の観光資源について、その所在地、特色、観光的見どころ等を理解し、説明することができる。					・随時試験 ・課題レポート	30% 30%
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	学内外での授業への積極的な参画、およびアクティブラーニングの実践ができる。					・授業参画度	15%
協働・課題解決力							
多様性理解力	主要観光資源の歴史的、文化的背景の多様性を理解し、説明することができる。					・課題レポート	25%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
随時試験 30 点 (総合旅行業務取扱管理者試験出題をイメージ、小テストを授業 10 回目と 15 回目の 2 回予定。) 課題レポート 55 点 (評価基準：課題主旨の理解度と記述内容の明快度。提出期限は 15 回目授業終了後 1 週間以内。) 授業参画度 15 点 (評価基準：授業課題への取組み姿勢、質問・コメント等の有無とその回数。) 諸々のフィードバックは、授業時間内に、またはポートフォリオを用いて適宜実施していく。							
授業の概要							
担当教員の海外/国内旅行事業実務経験と知見による実践的授業である。この授業は、①予習：教科書の事前読み込み ②授業時：各観光地解説とビジュアル資料による理解の深化 ③復習：授業での説明ポイントを教科書で再確認、のサイクルを学生が自発的に回すことで確実な認識、理解、定着に結び付ける。また文字を追うだけでは無く視聴覚的資料も使用しながら授業を進めていく。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。							
教科書・参考書							
教科書：『旅行実務シリーズ⑦ 海外旅行実務－海外観光資源』 J T B 総合研究所 参考書：特に定めない。 指定図書：『ヨーロッパものしり紀行』くらしとグルメ編 紅山雪夫著 新潮文庫							
授業外における学修及び学生に期待すること							
この地域の観光資源は、美しく、かつ歴史的・文化的に魅力あふれるものばかりである。総合旅行業務取扱管理者試験対策では知識の積み上げが必要なので予習と復習による知識の定着が不可欠であるが、受講に際してはまずこの地域に興味を持ち、現地に行ってみたく感じて欲しい。また日頃から世界地図を頭に描けるように世界の動向に注目していくことに期待する。加えて「欠席・遅刻・早退・私語」の無い授業進行への参画も期待する。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習 ・教科書読みが中心。 ・予習は書き出すこと。
1	授業の導入、オランダ	授業の進め方のガイダンス。 オランダの観光資源とその特徴を概観する。	オランダの観光資源とフェルメール、ライクスマニエールについて。
2	イギリス	イギリスの観光資源とその特徴を概観する。	イギリスの観光資源と国を構成する4カントリーの特徴について。
3	北欧諸国	ノルウェー、スウェーデン、デンマーク、フィンランド4カ国の観光資源とその特徴を概観する。	スカンディナヴィア諸国の観光資源とフィヨルド、スオミについて。
4	ドイツ	ドイツの観光資源とその特徴を概観する。	ドイツの観光資源とロマンチック街道とその3つの城壁都市について。
5	スイスとオーストリア	スイス、オーストリアの観光資源とその特徴を概観する。	両国の観光資源とユングフラウ三峰、グリンデルワルドについて。
6	フランス	パリとフランス各地域の代表的な観光資源とその特徴を概観する。	フランス各地域に広がる観光資源とフランス菓子について。
7	イタリア (1) ローマとヴァチカン市国	ローマとヴァチカン市国の観光資源とその特徴を概観する。	古代ローマの遺跡とサンピエトロ寺院、ヴァチカン市国の衛兵について。
8	イタリア (2) その他のイタリアの都市	その他のイタリア都市の観光資源とその特徴を概観する。	イタリア各地域に広がる観光資源とトスカナ地方、東方見聞録について。
9	スペインとポルトガル	スペインとポルトガルの観光資源とその特徴を概観する。	イベリア半島の観光資源とバスク地方、サグラダファミリアについて。
10	ギリシャ	ギリシャの観光資源とその特徴を概観する。	ギリシャの観光資源とパルテノン神殿、メテオラ、ムサカについて。
11	ロシアと東ヨーロッパ諸国	ロシア、チェコ、ポーランド、ハンガリー、バルト3国などの観光資源とその特徴を概観する。	各国観光資源とウラジオストック、カルロヴィ・ヴァリ、カレル橋について。
12	アメリカ合衆国 (1)	アメリカ合衆国東部の観光資源とその特徴を概観する。	米国東部の観光資源、マウンテンステート、世界を照らす自由について。
13	アメリカ合衆国 (2)	アメリカ合衆国西部の観光資源とその特徴を概観する。	米国西部の観光資源、ラスベガス、アンテロープキャニオンについて。
14	カナダとメキシコ・中南米諸国	カナダ・メキシコと中南米諸国の観光資源とその特徴を概観する。	対象諸国の観光資源、ハイラムビンガム号、セノーテ、ケベックについて。
15	総括	これまでの授業内容を振り返る。	課題レポート制作上の質疑・相談。